

平成二十五年 七月 作品

日暮すぐ そこに来てをり 時計草 (一江)

今年もまた 咲いてくれたね 月下美人 (暢久)

白南風や 亀重なりて 甲羅干す (隆治)

(東村山 北山公園にて)

花しようぶ 人の数ほど 並びをり (正雄)

にが瓜が 終の住処を覆ひけり (前歩)

店ごとに 飾りを立てて 夏祭 (正佳)

(チエコプラハにて)

聖堂に パイプオルガン 夏夕べ (奉男)

ウィーンの 夏を歩くや 石畳 (奉男)

(ブタベストにて)

見上げゐる 夏満月や くさり橋 (奉男)

七夕の 飾り幼き 手の中に (由美)

眼前に ふるさとの山 夏の雲 (太郎)

紫陽花に 囲まれ長谷の 観世音 (孝昭)